

[用紙 2]

2016 年 10 月 21 日

小委員会設置申請書

作成者：福代 和宏

1. 名 称 英文名称は Sub Committee を付記	アジア・モンスーン地域 の建築環境検討小委員 会（仮）	英文 名称	Subcommittee on Building Environment in Asian Monsoon Region																																																																											
2. 所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境本委員会																																																																													
3. 設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2019 年 3 月																																																																													
4. 設 置 目 的	<p>発展著しいアジア各国のエネルギー消費量の増大は地球温暖化を助長させる大きな要因である。そこで、アジアの都市とその周辺の農村部における住宅エネルギー消費量の実態を明らかにし、居住環境要因と住宅エネルギー消費の関連性を構造的に明らかにする。</p> <p>次に、ライフスタイルを考慮した将来予測を行なうことにより、エネルギー消費の増加を押さえつつ快適で健康な室内環境を実現するための省エネルギー政策の基礎となる資料を整備する。</p>																																																																													
5. 委員会の位置付け	<p>急激な経済成長に伴って地球的規模でのエネルギー消費に甚大な影響を及ぼすことが予想されるアジアにおいて、各種のエネルギー対策を施して快適な居住環境を形成していくためには、建築環境の省エネルギー政策の基礎となる資料を早急に整備する必要がある。</p> <p>広くアジアの国々を対象として建築環境に関するエネルギー消費増大への対策を進めるためには、本学会に当小委員会を設置することが最適であり、早急な検討が必要である。</p>																																																																													
6. 委員会の構成 (確定している委員予定者名簿を記載のこと。必ず会員名簿を記入すること)	<p>アジア地域の居住環境における温熱・空気質環境の実測やアンケート調査に携わった研究者、統計的資料に基づく住宅および非住宅用エネルギー消費の分析に関する研究者、現地の建築に関わった研究者、設計用気象データに関する研究者、現地の研究者との人脈を持つ研究者を中心に構成。さらに、傘下 WG にてアジア国々の居住環境に詳しい研究者を公募する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th><th>会員番号</th><th>役職</th><th>氏 名</th><th>勤務先</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>0225650</td><td>主査</td><td>福代 和宏</td><td>山口大学大学院 技術経営研究科</td></tr> <tr> <td>2</td><td>9508827</td><td>幹事</td><td>久保田 徹</td><td>広島大学大学院 国際協力研究科</td></tr> <tr> <td>3</td><td>9013783</td><td>委員</td><td>赤司 泰義</td><td>東京大学 大学院 工学研究科 建築学専攻</td></tr> <tr> <td>4</td><td>9125263</td><td></td><td>高 偉俊</td><td>北九州市立大学 国際環境工学部</td></tr> <tr> <td>5</td><td>1530650</td><td></td><td>加藤 真司</td><td>建築研究所</td></tr> <tr> <td>6</td><td>9502562</td><td></td><td>高口 洋人</td><td>早稲田大学 創造理工学部 建築学科</td></tr> <tr> <td>7</td><td>8806094</td><td></td><td>Sanjay PAREEK</td><td>日本大学 工学部 建築学科</td></tr> <tr> <td>8</td><td>9912026</td><td></td><td>リジャル H. パハドゥル</td><td>東京都市大学 環境情報学科</td></tr> <tr> <td>9</td><td>8501018</td><td></td><td>張 晴原</td><td>横浜国立大学</td></tr> <tr> <td>10</td><td>7505548</td><td></td><td>外岡 豊</td><td>埼玉大学 経済学部 社会環境設計学科</td></tr> <tr> <td>11</td><td>6903934</td><td></td><td>中上 英俊</td><td>住環境計画研究所</td></tr> <tr> <td>12</td><td>9828950</td><td></td><td>北原 博幸</td><td>トータルシステム研究所</td></tr> <tr> <td>13</td><td>7105546</td><td></td><td>吉野 博</td><td>東北大学 工学研究科</td></tr> <tr> <td>14</td><td>7415701</td><td></td><td>吉野 泰子</td><td>日本大学 短期大学部 建築・生活デザイン学科</td></tr> </tbody> </table>			No	会員番号	役職	氏 名	勤務先	1	0225650	主査	福代 和宏	山口大学大学院 技術経営研究科	2	9508827	幹事	久保田 徹	広島大学大学院 国際協力研究科	3	9013783	委員	赤司 泰義	東京大学 大学院 工学研究科 建築学専攻	4	9125263		高 偉俊	北九州市立大学 国際環境工学部	5	1530650		加藤 真司	建築研究所	6	9502562		高口 洋人	早稲田大学 創造理工学部 建築学科	7	8806094		Sanjay PAREEK	日本大学 工学部 建築学科	8	9912026		リジャル H. パハドゥル	東京都市大学 環境情報学科	9	8501018		張 晴原	横浜国立大学	10	7505548		外岡 豊	埼玉大学 経済学部 社会環境設計学科	11	6903934		中上 英俊	住環境計画研究所	12	9828950		北原 博幸	トータルシステム研究所	13	7105546		吉野 博	東北大学 工学研究科	14	7415701		吉野 泰子	日本大学 短期大学部 建築・生活デザイン学科
No	会員番号	役職	氏 名	勤務先																																																																										
1	0225650	主査	福代 和宏	山口大学大学院 技術経営研究科																																																																										
2	9508827	幹事	久保田 徹	広島大学大学院 国際協力研究科																																																																										
3	9013783	委員	赤司 泰義	東京大学 大学院 工学研究科 建築学専攻																																																																										
4	9125263		高 偉俊	北九州市立大学 国際環境工学部																																																																										
5	1530650		加藤 真司	建築研究所																																																																										
6	9502562		高口 洋人	早稲田大学 創造理工学部 建築学科																																																																										
7	8806094		Sanjay PAREEK	日本大学 工学部 建築学科																																																																										
8	9912026		リジャル H. パハドゥル	東京都市大学 環境情報学科																																																																										
9	8501018		張 晴原	横浜国立大学																																																																										
10	7505548		外岡 豊	埼玉大学 経済学部 社会環境設計学科																																																																										
11	6903934		中上 英俊	住環境計画研究所																																																																										
12	9828950		北原 博幸	トータルシステム研究所																																																																										
13	7105546		吉野 博	東北大学 工学研究科																																																																										
14	7415701		吉野 泰子	日本大学 短期大学部 建築・生活デザイン学科																																																																										

7. 活 動 計 画	<p>初年度：</p> <p>① 居住環境の調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マレーシア、インドネシア、ベトナム、カンボジア、タイ、ネパール、インド、韓国、中国などアジアの国々における居住環境調査の実施 <p>②非住宅建築のエネルギー実態調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市部の商業ビルやオフィスなど非住宅建築の省エネに向けたエネルギー消費実態調査の実施 <p>③自然エネルギー利用に関する調査</p> <p>④アジアにおける建築設備設計用気象データの開発</p> <p>⑤気候変動対策</p> <p>2 年度：</p> <p>①居住環境の調査（継続）</p> <p>②非住宅建築のエネルギー実態調査（継続）</p> <p>③自然エネルギー利用に関する調査（継続）</p> <p>④アジアにおける建築設備設計用気象データの開発（継続）</p> <p>⑤数値計算に基づく住宅用エネルギー消費の分析の実施</p> <p>⑥アジアにおける住宅省エネルギー対策の検討</p>		
8. 期待される成果と公表方法	<p>（内容と公表形態）</p> <p>地球的規模でのエネルギー消費に大きな影響を及ぼすアジア地域のエネルギー消費に関して、現状では実態を知りうるデータが極めて限られている。本小委員会の活動を通じて、エネルギー消費に関わるデータや知見を充実させることにより、エネルギー消費の増加を押さえつつ快適で健康な室内環境を実現するための方策を示し、アジア諸国の住宅省エネルギー政策の立案、および建築分野における省エネ技術の普及に貢献できる。</p> <p>公表方法：シンポジウムの開催</p>		
<p>9. 設置を予定する WG</p> <p>英文名称は Working Group を付記してください。 (WG がなければ記載不要。WG が 2 つ以上ある場合はこの欄を追加してそれぞれ記載すること。必要なら各 WG ごとに小委員会設置申請書と同様の書式のものを添付する)</p>	<p>名称：実態調査 WG</p>	<p>英文名称</p>	<p>Working Group of Field Survey</p>
	<p>目的:発展著しいアジア各国のエネルギー消費量の増大は地球温暖化を助長させる大きな要因である。そこで、アジアの都市とその周辺の農村部における住宅エネルギー消費量の実態を明らかにし、居住環境要因と住宅エネルギー消費の関連性を構造的に明らかにする。</p>		
	<p>名称：将来予測 WG</p>	<p>英文名称</p>	<p>Working Group of Future Projections</p>
	<p>目的:ライフスタイルを考慮した将来予測を行なうことにより、エネルギー消費の増加を押さえつつ快適で健康な室内環境を実現するための省エネルギー政策の基礎となる資料を整備する。</p>		
<p>期間： 2017 年 4 月 ～ 2019 年 3 月</p>			

注 1) 各項目に関して提示された事項に注目して記述してください。

注 2) 合同小委員会、研究会を設置する場合にもこの書式を準用してください。

WG設置申請書

地球環境委員会				
アジア・モンスーン地域の建築環境検討小委員会				
新設 WG 名称				
実態調査 WG				
英文名称				
Working Group of Field Survey				
組織図（周辺の位置づけを図示）				
<div> <div>地球環境委員会</div> <div> <div>—— アジア・モンスーン地域の建築環境検討小委員会</div> <div> <div>—— 実態調査 WG</div> <div>—— 将来予測 WG</div> </div> </div> </div>				
新設 WG の活動目的（直属委員会との関連）				
<p>発展著しいアジア各国のエネルギー消費量の増大は地球温暖化を助長させる大きな要因である。そこで、アジアの都市とその周辺の農村部における住宅エネルギー消費量の実態を明らかにし、居住環境要因と住宅エネルギー消費の関連性を構造的に明らかにする。</p>				
活動計画（設置期間 2017 年 4 月 ～ 2019 年 3 月） *設置期間は、最長 2 年				
	1 年目	①住環境の調査 ・マレーシア、インドネシア、ベトナム、カンボジア、タイ、ネパール、インド、韓国、中国などアジアの国々における居住環境調査の実施 ②非住宅建築のエネルギー実態調査		
	2 年目	① 住環境の調査（継続） ②非住宅建築のエネルギー実態調査（継続）		
WG 名簿（定員 15） *必ず会員番号をご記入ください				
番号	会員番号	役職（主査・幹事）	氏名	勤務先
1	9508827	主査	久保田 徹	広島大学大学院 国際協力研究科
2	8806094	幹事	Sanjay PAREEK	日本大学 工学部 建築学科
3	9013783	委員	赤司泰義	東京大学大学院 工学研究科
4	1530650		加藤真司	建築研究所
5	0521739		玄 姫	(株)住環境計画研究所
6	9818450		一ノ瀬 雅之	首都大学東京
7	7105546		吉野 博	東北大学 工学研究科
8	7415701		吉野 泰子	日本大学 短期大学部 建築・生活デザイン学科
9	9912026		リジャル ホム・ハ・ハト・カル	東京都市大学 環境学部・環境創生学科
10	1231078		馮 新玲	早稲田大学大学院
11	0525092		王 岩	中国天津城建大学

WG設置申請書

地球環境委員会				
アジア・モンスーン地域の建築環境検討小委員会				
新設 WG 名称				
将来予測 WG				
英文名称				
Working Group of Future Projections				
組織図（周辺の位置づけを図示）				
<div> <div>地球環境委員会</div> <div> <div>——</div> <div>アジア・モンスーン地域の建築環境検討小委員会</div> <div> <div>——</div> <div>実態調査 WG</div> <div>将来予測 WG</div> </div> </div> </div>				
新設 WG の活動目的（直属委員会との関連）				
<p>ライフスタイルを考慮した将来予測を行なうことにより、エネルギー消費の増加を押さえつつ快適で健康な室内環境を実現するための省エネルギー政策の基礎となる資料を整備する。</p>				
活動計画（設置期間 2017 年 4 月 ～ 2019 年 3 月） *設置期間は、最長 2 年				
	1 年目	① 自然エネルギー利用に関する調査 ② アジアにおける建築設備設計用気象データの開発 ③ 気候変動対策の検討		
	2 年目	① 自然エネルギー利用に関する調査（継続） ② アジアにおける建築設備設計用気象データの開発（継続） ③ 数値計算に基づく住宅用エネルギー消費の分析の実施 ④ アジアにおける住宅省エネルギー対策の検討		
WG 名簿（定員 15） *必ず会員番号をご記入ください				
番号	会員番号	役職（主査・幹事）	氏名	勤務先
1	9502562	主査	高口 洋人	早稲田大学 創造理工学部 建築学科
2	9125263	幹事	高 偉俊	北九州市立大学 国際環境工学部
3	9828950		北原 博幸	トータルシステム研究所
4	8501018		張 晴原	滋賀県立大学 環境科学部
5	7505548		外岡 豊	埼玉大学 経済学部 社会環境設計学科
6	6903934		中上 英俊	(株)住環境計画研究所
7	0225650		福代 和宏	山口大学大学院 技術経営研究科
8	0403478		中村美和子	エコロジーアーキスケープ

2017 年度 委員会活動計画案

(2016 年 10 月 21 日作成)

委員会名	(仮) アジア・モンスーン地域の建築環境検討小委員会		主 査 名：福代和宏
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会		委員長名：中村 勉
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設 置 目 的	<p>発展著しいアジア各国のエネルギー消費量の増大は地球温暖化を助長させる大きな要因である。そこで、アジアの都市とその周辺の農村部における住宅エネルギー消費量の実態を明らかにし、居住環境要因と住宅エネルギー消費の関連性を構造的に明らかにする。次に、ライフスタイルを考慮した将来予測を行なうことにより、エネルギー消費の増加を押さえつつ快適で健康な室内環境を実現するための省エネルギー政策の基礎となる資料を整備する。</p>		
各年度活動計画	<p>初年度： ①居住環境の調査 ②非住宅建築のエネルギー実態調査 ③自然エネルギー利用に関する調査 ④アジアにおける建築設備設計用気象データの開発 ⑤気候変動対策</p> <p>2 年度： ①居住環境の調査(継続) ②非住宅建築のエネルギー実態調査(継続) ③自然エネルギー利用に関する調査(継続) ④アジアにおける建築設備設計用気象データの開発(継続) ⑤数値計算に基づく住宅用エネルギー消費の分析の実施 ⑥アジアにおける住宅省エネルギー対策の検討</p> <p>初年度：</p>		
2017年度 活動計画	<p>①居住環境の調査 (継続) ・ マレーシア、インドネシア、ベトナム、カンボジア、タイ、ネパール、インド、韓国、中国などアジアの国々における居住環境調査の実施</p> <p>②非住宅建築のエネルギー実態調査 (継続) ・ 非住宅建築の省エネに向けたエネルギー消費実態調査の実施</p> <p>③自然エネルギー利用に関する調査 (継続) ・ 気象条件が異なる地域での自然エネルギー利用に関する調査を実施</p> <p>④アジアにおける建築設備設計用気象データの開発 (継続) ・ アジア各都市における空調用エネルギー消費量の推算に向けた準備を行う。</p> <p>⑤住宅用エネルギー消費の分析の実施 ・ 住宅用エネルギー消費について、実測結果などを分析する。</p> <p>⑥アジアにおける住宅省エネルギー対策の検討 ・ 現地の建築研究所との連携による検討</p> <p>⑦アジア蒸暑地域のサステナブル住宅に関する英文図書の出版 ・ 小委員会の研究成果をまとめた英文図書を Springer より出版予定 (8 月)</p>		
委 員 数	14 名	開催予定数	4 回
WG の活動計画 開催予定数	実態調査 WG 4 回開催 将来予測 WG 4 回開催		

※出版物・講習会・シンポジウム等の企画はそれぞれの企画書を別途提出してください。

◎20 年度調査研究委員会主催催し物（シンポジウム・セミナー・研究会・研修会・座談会・報告会・見学会等）
（ただし、講習会（支部共通、委員会主催）、および大会での研究協議会、PD、研究懇談会等は除く）

調査研究委員会主催催し物 企画書 （用紙7）

委員会名 委員長名	2016年 10月 21日 アジア・モンスーン地域の建築環境検討 (仮) 小委員会 福代和宏 印	事務局担当者	20 年 月 日 能力開発支援事業委員会 委員長 印					
催し物の名称	●内容・形式・性格 (下記から番号を 入れてください)	開催時期	会 場	参加予定 人 数	収支予算案		担当小委員会名	整理番号
					収入	支出		
アジア蒸暑地域の持続可能な住宅(仮)	資料: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 無し (50頁予定)	2018年 1月頃	<input type="checkbox"/> 建築会館ホール <input checked="" type="checkbox"/> 建築会館会議室 <input type="checkbox"/> その他 ()	50名	¥50,000	¥45,000	アジア・モンスーン 地域の建築環境検 討小委員会(仮)	
	資料: <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 無し () 頁予定)	年 月頃	<input type="checkbox"/> 建築会館ホール <input type="checkbox"/> 建築会館会議室 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	資料: <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 無し () 頁予定)	年 月頃	<input type="checkbox"/> 建築会館ホール <input type="checkbox"/> 建築会館会議室 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	資料: <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 無し () 頁予定)	年 月頃	<input type="checkbox"/> 建築会館ホール <input type="checkbox"/> 建築会館会議室 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	資料: <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 無し () 頁予定)	年 月頃	<input type="checkbox"/> 建築会館ホール <input type="checkbox"/> 建築会館会議室 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	資料: <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 無し () 頁予定)	年 月頃	<input type="checkbox"/> 建築会館ホール <input type="checkbox"/> 建築会館会議室 <input type="checkbox"/> その他 ()					
<内容・形式等については、①～⑦のカテゴリーより分類して下さい> ①委員会研究成果の公表・資料主体、 ②委員会研究成果の公表・スピーチ主体 ③招待講演主体の研究会、 ④;②および③併用のもの、 ⑤応募論文の発表会 ⑥依頼論文の発表会、 ⑦その他			*この企画書により基本部門のシンポジウム等の予算原案を作成いたします。 継続開催されるもの、または新規に企画予想されるものを必ず明記して下さい。 また、収入支出予算は、継続のものは前回は参考に、新規ものは資料作成などを考慮 のうえ、大凡の金額を記入にて下さい。					

注) 共催団体がある場合は、団体名を催し物名の後に記入して下さい。